

ため池の適正な維持管理に向けた機能診断及び補修・補強評価技術の開発

1. 研究目的

ため池の工法に係る既存技術の整理、シミュレーションおよび現地実証等による検証を行い、補修・補強工法の対策効果の検証、簡易劣化診断手法の開発、洪水調節機能強化手法を確立し、農村地域の防災力強化を図る。

2. 研究背景

近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、農業用ため池の被災が増加しており、老朽化したため池の防災・減災対策及び洪水調節機能の強化が求められている。

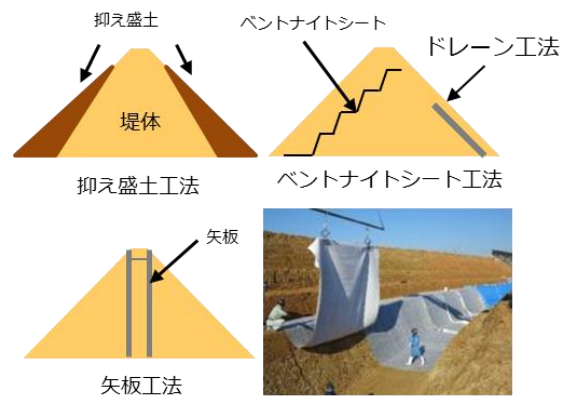
これらの対策を計画的に進めるために、調査・設計・工事に関する標準的な手順・方法を記述した技術マニュアルの整備に取り組む。



ため池の被災事例

3. 研究内容

- ① コストと安全面を考慮した最適な補修・補強工法の選定手法を開発
- ② ため池の洪水調節機能について強化策を含めた評価手法の確立及び破堤時の浸水区域算定手法を高度化
- ③ ため池の劣化診断において近接目視に代わる簡易な省力型診断技術を開発



ため池の新たな補修・補強工法の評価・選定

4. 達成目標・期待される効果

達成目標

- ・ 迅速かつ信頼性の高い調査・診断技術の開発
- ・ 補修・補強工法の評価および最適な工法選定技術の開発
- ・ 上記技術のマニュアル作成



期待される効果

- ・ 防災重点農業用ため池の整備を計画的・効率的に推進
- ・ 農村地域の防災力強化
- ・ ため池以外の構造物への応用

研究代表機関：農研機構

共同研究機関：神戸大学、兵庫県、ニタコンサルタント(株)